

関東のいづもさん むすび

発行
出雲大社相模分祠
〒257-0015
神奈川県秦野市平沢1221
Tel:0463-81-1122
Fax:0463-82-1728
編集兼発行人
副長 草山和泉
季刊毎年2回発行
http://www.izumosan.com/



色鮮やかなほおずき・朝顔が参道に整然と並ぶ中、この日だけは巫女達も袴ではなく浴衣を着て縁日のほおずき頒布をします。境内では丹沢マルシェが開催され、30店舗近くの露店が出店し、にぎやかな縁日を彩ります。地元飲食店ほか多数出店予定。



【ほおずき市の期間中】お楽しみガラガラ抽選籤を開催（はずれなし）!! 本誌持参で一人一回まで参加できます。龍蛇神の社をご参拝の方にも配布しております。



【丹沢マルシェ】地元の飲食店多数出店。秦野のいいところを見つけて下さい。

ほおずき市・朝顔市開催

七月五日〜七日関東のいづもさん夏の風物詩でもある毎年恒例のほおずき市朝顔市が本年も開催される。新曆に沿った夏のお盆行事。境内参道には五〇〇鉢以上の色鮮やかな赤や緑の実を携えた竹かご入りのほおずきで飾られる。併せて瑞々しい花を咲かせる朝顔も夏の縁日の景色を飾る。ほおずきの実には明々と灯りの燈った提灯飾になぞらえて古くより祖霊をお迎えするお盆の花として重宝され、ご家庭のお盆の先祖供養にお供えすると良いとされる。炎天下の時期ではあるが、参道には竹で作った小屋に涼しげなほおずき・朝顔が数多く飾られ、丹沢マル

七月五日〜七日関東のいづもさん夏の風物詩でもある毎年恒例のほおずき市朝顔市が本年も開催される。新曆に沿った夏のお盆行事。境内参道には五〇〇鉢以上の色鮮やかな赤や緑の実を携えた竹かご入りのほおずきで飾られる。併せて瑞々しい花を咲かせる朝顔も夏の縁日の景色を飾る。ほおずきの実には明々と灯りの燈った提灯飾になぞらえて古くより祖霊をお迎えするお盆の花として重宝され、ご家庭のお盆の先祖供養にお供えすると良いとされる。炎天下の時期ではあるが、参道には竹で作った小屋に涼しげなほおずき・朝顔が数多く飾られ、丹沢マル

急遽変更もござります。尚、新曆お盆七月十三日〜十六日・旧曆月遅れお盆八月十三日〜十六日ともに祖霊社にてお盆の先祖供養を受付しております。『龍蛇神の社』特別拝観 出雲大社相模分祠「千年の杜」の守護神として、お祀りされる「龍蛇神様」は大地の神・水の神・金運・縁結びの御利益のあるダイコク様のお仕え神様。「千年の杜」では慶長十四年より湧水する「ゆずりの水」が溢れ、夏には蛍の飛び交う幻想的な鎮守の杜である。また、環境省指定の全国名水百選にも選定されるこの湧水を取りに多くのお水とりの人々で賑わう。ほおずき市朝顔市期間中、参拝者には巫女

より福引券の贈呈と併せて御神酒あるいはよく冷えた秦野名水の授与をしている。また、ほおずき市・朝顔市の期間中には、普段は閉ざされている龍蛇神の社を開扉致しまして、神殿内に鎮座なされる龍蛇神様を直接拝む特別拝観が開催される。古くより、出雲の地では旧曆十月十日に全国の神々が参集し、縁結びの会議がなされるといわれる。私たちが十月を神無月と呼ぶ所以でもあり、出雲地方では神在月・大忌（おおいみ）さんとも称し特別な信仰がある。この神々が集う出雲の地に全国の神々をご案内先導する神様が龍蛇神様である。縁結び・金運の御利益をもつ龍蛇神様にぜひこの機会にご参拝頂きたい。

参拝者専用無料バス時刻表

秦野駅	発	時	出雲大社相模分祠	発
30	9	50		
10	50	10	30	
30	10	11	10	50
10	50	12	30	
30	13	13	10	50
10	50	14	30	
30	15	15	10	50
10	16	16	30	
30	17	17	10	50

7/6(土)7(日)40分間運行:25名乗り

秦野駅より無料バス運行

ほおずき市イベント二覽
▼七月五日(金)・龍蛇神の社祝祭(十五時)▼
▼六日(土)・秦野観光和太鼓(十時半)・無双直伝英信流居合演武(十一時半)・花笠踊り大黒舞(十三時)・八丈太鼓はなみずき(十四時)・大祓神茅の輪くぐり(十五時)・フラダンス(十六時)・おわら風の盆(十七時)▼
▼七日(日)・丹沢マルシェプレイゼンツ音楽フェス(バイオリン等予定)
※土日キッチンカーあり



▶海老名おわら風の盆 奉納 ▶無双直伝英信流居合演武 刀法・演武・太刀打之位 ▶艶やかなフラダンス ▶秦野観光和太鼓

奉拝 出雲大社相模分祠 令和元年 吉日
ほおずき市・期間限定 ほおずき御朱印授与 普段は御朱印に勾玉の判子を押しますが、ほおずき市期間より八月未迄、ほおずきの実にかかります。

神語奉書奉納の御案内

神語奉書の奉納のご案内を申し上げます。六月〜八月上旬(六月〜八月上旬)の間に、皆様の願い事を込めて謹書して戴いた神語奉書は八月上旬の出雲大社教団大祭(島根県)において、大国主大神様の大御前にてご祈念し奉納致します。幸魂奇魂守給 幸給

「奇魂」とは、「櫛」「串」の言葉のように、「櫛」で乱れた頭髪を解いて整える、「串」刺しにして、それぞれの物を統一する」というように、統一し調和する力を意味します。「幸魂」によって分化繁殖した想いを、「奇魂」によって統一調和して一層発展させてゆく願いを指します。

※一枚につき一〇〇〇円のお気持ちをお納め頂いております。
※授与品・神饌(するめ昆布)
※社頭にてご対応しております。



夏越の大祓 茅の輪くぐりの神事 (詳細四面)
六月 二十三日(日) 午後三時 二十九日(土) 午後三時 三十日(日) 午後六時
七月七日(日) 午後四時
ほおずき市朝顔市 境内参道にて
七月五日(金) 十時〜十八時
六日(土) 十時〜十八時
七日(日) 十時〜十八時
※丹沢マルシェの飲食店は六日(土) 七日(日)の出店となりますのでご注意ください。

神饌講のご案内

たくさんのお参拝の御志で平素より大神様へのお供え物は賄われております。神饌講の加入金は一日五円ずつ出雲大社(島根県)並びに当分祠の日々の神事の神饌代として活用させて頂いております。毎月一日には出雲大社神楽殿で加入者のお名前を奏上して家内安全をお祈りしています。講員証(期限一年)が授与され、出雲大社(島根県)に持参すると普段入ることの出来ない御本殿の門内拝礼にご案内して戴けます。

●神饌講加入 二〇〇〇円(五円×三八五日分) 一八二五円+送料 ※お申し込みは出雲大社相模分祠授与所まで

夏越の大祓 茅の輪くぐりの神事 (詳細四面)
六月 二十三日(日) 午後三時 二十九日(土) 午後三時 三十日(日) 午後六時
七月七日(日) 午後四時
ほおずき市朝顔市 境内参道にて
七月五日(金) 十時〜十八時
六日(土) 十時〜十八時
七日(日) 十時〜十八時
※丹沢マルシェの飲食店は六日(土) 七日(日)の出店となりますのでご注意ください。